

教育総務部長目標

教育総務部長 千葉 裕之(ちば ひろゆき)



当部の仕事をもって貢献しているSDGsの主なゴール



ゼロカーボンシティ実現に向けた当部の方針

2050年のゼロカーボンシティ実現に向け、環境に配慮した施設の整備を進めます。令和5年度は小中学校をはじめとした教育施設のLED化整備事業、中学校校舎内部改修(木質化)事業等に取り組みます。

教育総務部の仕事

教育総務部は、教育総務課、教育施設課、社会教育課、スポーツ振興課、文化財保護課、所沢図書館の6課で構成され、教育委員会所掌事務のうち、教育委員会の庶務、教育施設の整備、生涯学習・社会教育の推進、スポーツの振興、文化財の保護、図書館の運営などを主な仕事にしています。

教育総務部の令和5年度の目標

教育総務部の今年度の重点的な目標は、学校施設長寿命化改修事業、ところん自習室開設事業、歴史的建造物整備活用事業、所沢市部活動推進事業などに取り組みます。

また、令和6年度から5年間の本市の教育が目指すところを明らかにする「第3次所沢市教育振興基本計画」の策定作業を進めます。

目標達成に向けた重点事業

No	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	学校施設長寿命化改修事業	老朽化が進む市内の小中学校について、所沢市が策定した「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づき、学校施設の長寿命化改修工事を実施します。	学校施設長寿命化改修工事を実施するため、令和5年度は、基本計画及び基本設計業務を行い、実施方針を定め、事業を進めていきます。	計画どおり契約を締結し、令和5年度は、基本計画及び基本設計業務を実施しました。引き続き、学校施設長寿命化改修工事に向けて事業を進めます。
2	ところん自習室開設事業	児童・生徒のための定期的な自主学習の場として、見守りスタッフが常駐した夜間の自習室を開設します。	児童・生徒に安心して学習できる場を提供することで、放課後等の子どもたちの居場所をつくるとともに、当該センターの子どもの利用を促進します。	6月から月・水・金曜日の週3日開設したほか、夏期と冬期にも追加で開設し、合わせて143日で延べ558人が利用しました。
3	歴史的建造物整備活用事業	寿町にある国登録有形文化財「秋田家住宅」と敷地全体の整備と活用を図ります。「所沢のまちば」の歴史・文化を伝え、「ふるさと所沢」を愛する心を育てるとともに、地域の商業や観光の活性化にも寄与することを目指します。	令和5年度は、「所沢市寿町歴史的建造物整備活用基本方針」を踏まえて、「秋田家住宅等」を整備活用するために必要となる各種調査を実施します。	「秋田家住宅」の現況調査や測量調査及び土壌調査などを実施することによって、整備活用案及び活用事業を進めるために必要な情報の収集と整理ができました。
4	所沢市立中学校地域部活動推進事業	国の「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」を受け、本市において持続可能な部活動の実現と教師の負担軽減等を目的に、段階的に中学校の休日の部活動を地域移行するため、有識者を含む検討会議を実施します。	令和5年度は、所沢市立中学校地域部活動検討委員会を5回開催し、本市における部活動の地域移行の在り方等について意見を伺い、実施に向けた方向性などについて検討します。	所沢市立中学校地域部活動検討委員会を5回開催するとともに、児童生徒・保護者、教職員にアンケートを実施し、部活動の地域移行の在り方等について検討しました。